

県営菊池平野地区土地改良事業（農業用排水施設）変更計画概要書

1 計画変更の内容

項目	変更前	変更後	増減
地 域	菊池市	菊池市	-
地 積	665.1ha	664.1ha	△1.0ha
主 要 工 事	用水路工 L=30,872m	用水路工 L=37,292m 頭首工 2箇所	6,420m 2箇所
工事着手及び完了予定時期	着手 令和3年 完了 令和11年	着手 令和3年 完了 令和21年	
総事業費 (うち事務費)	3,541,650千円 (168,650千円)	8,154,650千円 (327,650千円)	4,613,000千円 (159,000千円)

2 計画変更を必要とする理由

(1) 施行に係る地域の変更

農地転用希望による地域の減 △1.0ha

(2) 主要工事計画の変更

老朽化や施設不具合に伴う頭首工の改修の追加及び施設老朽化に伴う用水路延長の増
 用水路 30,872m → 37,292m 増 6,420m
 頭首工 0箇所 → 2箇所 増 2箇所

(3) 主要工事に係る事業費の変更

- | | |
|-----------------------|-------------|
| ① 開水路工の物価変動による事業費の増 | 1,335,000千円 |
| ② 開水路工の改修延長増増に伴う事業費の増 | 558,000千円 |
| ③ 頭首工の改修追加に伴う工事費の増 | 2,407,000千円 |
| ④ その他事業費及び測量設計費の増 | 313,000千円 |

3 変更後の土地改良事業計画の概要

(1) 事業の目的

水利施設の老朽化により漏水が多く、かんがい期に必要な水量を確保できていないため、幹線・支線用水路を整備することで、安定的な用水供給を可能にし、農作業や維持管理労力の軽減と農地の汎用化を図る。

また、手動（堰板）で取水している堰を自動転倒ゲートにすることや耐用年数を迎えるゴム引布製起伏堰を鋼製起伏堰に更新することで維持管理労力の軽減を図るこ

とを目的とする。

(2) 施行に係る地域の所在、地積及び現況

- ① 地域の所在 菊池市
- ② 地積

地 目 市町村名	現 況					計 画				
	田	畑	道・水路	その他	計	田	畑	道・水路	その他	計
菊池平野	664.1ha (665.1ha)				664.1ha (665.1ha)	664.1ha (665.1ha)				664.1ha (665.1ha)
計	664.1ha (665.1ha)				664.1ha (665.1ha)	664.1ha (665.1ha)				664.1ha (665.1ha)

③ 現況

1) 地形

菊池川水系を水源とする地形勾配の緩やかな水田地帯である。

2) 水利状況

- a 用水状況：菊池川と迫間川を水源とし、河川に設置された取水堰から取水し、用水路を流下して地区内をかんがいしている。
- b 排水状況：昭和 43～58 年の区画整理により整備されている。

3) 道路状況

昭和 43～58 年の区画整理により整備されている。

4) 営農状況

農地は、昭和 43～55 年に「県営ほ場整備事業（菊池地区）」・昭和 47～54 年に「県営ほ場整備事業（菊池Ⅱ期地区）」・昭和 58 年に「市営ほ場整備事業」の区画整理事業により、農地や農業用排水施設の一体的な整備が行われ、水稻を中心に、麦、ゴボウ（春・冬）などが盛んに栽培されている。

5) 地域環境の状況

菊池市は、県の北部に位置し、市北側の急峻な山地から西側へ水が流れ南側に開けた地勢となっており、北側の八方ヶ岳から南東の鞍岳まで山岳をなしている。

市域の東側は標高 40～100mに阿蘇山の噴出物等が堆積した高原、台地が広がり、市域の西部および南部は河川沿いの平野となっている。東部の高原状区域は河川源流からの水の流れにより開析された溪谷が形成され、市の中心部から西部にかけて河川の扇状地が広がっている。

(3) 基本計画

①要旨

水利施設の老朽化により漏水が多く、かんがい期に必要な水量を確保できてい

ないため、幹線・支線用水路を整備することで、安定的な用水供給を可能にし、農作業や維持管理労力の軽減と農地の汎用化を図る。

また、手動（堰板）で取水している堰を自動転倒ゲートにすることや耐用年数を迎えるゴム引布製起伏堰を鋼製起伏堰に更新することで維持管理労力の軽減を図ることを目的とする。

②事業別面積

受益面積 $A = 664.1 \text{ ha}$
($A = 665.1 \text{ ha}$)

③用水量及び排水量

粗用水量 $Q = 5.294 \text{ m}^3/\text{s}$

(4) 工事計画

用水路工 $L = 37,292 \text{ m}$
($L = 30,872 \text{ m}$)

頭首工 2箇所
(0箇所)

(5) 環境との調和への配慮

1. 環境像

水の流れ（自然環境）、人の流れ（生活・産業）、時の流れ（歴史・文化）といった町づくりの基本となる3つの流れがたゆまなく相互に絡まって、菊池市独自の田園文化の里づくりを進めていく。

2. 基本目標

①農村景観の創造

- ・それぞれの農村の気候・風土・歴史・文化に応じ、個性的に視覚に心地よい景観を持ち、自然環境を保全しつつ有効に活用し、潤いのある豊かな農村創出と自然と調和した人情あふれる町づくりを目指す。
- ・農村の歴史や生活習慣などを見直し、独自の生活文化として地域住民の意識の高揚を図ると共に農村の知的空間を図る。
- ・特色ある農村景観の創造によって、地域コミュニティの活性化と明るく活力のある農村の整備を行う。

②水辺・沿道・施設の整備

- ・各農村における固有の素材を選定し、地域の学術的なシンボルとして整備保全する。
- ・単に目的適合性に留まらず、心地よい景観、快適性、さわやかさ、環境保全など多様な価値観を許容した農村環境を整備する。
- ・田園の自然環境の保全と再生を基調とし、各農村における既存のホタル、オヤニラミ等を保護する観点から多自然型の整備を行う。

③農村コミュニティの育成

- ・生産環境や農村景観を維持するために、優良農地を保全する。
- ・集落内道路、用排水路、下水道等を整備し、農村集落の生活環境の改善を図り、衛生的な農村をつくる。
- ・定住化を促進し、活力ある新たな農村コミュニティを形成する。

(6) 換地計画の要領 該当なし

(7) 費用の概算 (上段：変更後 下段：変更前)

主要工事費	7,222,000 千円
	(2,988,000 千円)
測量及び設計費	572,000 千円
	(352,000 千円)
用地費及び補償費	33,000 千円
	(33,000 千円)
換地費	—
附帯工事費	—
小計	7,827,000 千円
	(3,373,000 千円)
地方事務費	327,650 千円
	(168,650 千円)
総事業費	8,154,650 千円
	(3,541,650 千円)

(8) 事業の効果 (上段：変更後 下段：変更前)

項 目 区 分	年総効果（便益）額 （千円）	年増加見込所得額 （千円）
食料の安定供給の確保 に関する効果	316,832 (253,150)	
多面的機能の発揮に関 する効果	349,789 (283,002)	
その他の効果	61,161 (38,840)	
合計	727,782 (574,992)	

- (9) 地区を数区に分けた場合は、その旨及び理由
該当なし
- (10) 他事業との関係
該当なし
- (11) 計画概要図
別紙のとおり